

チェンジャーコントロール オーディオマスター

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



WX-4000



警告

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

⚠警告・⚠注意	4
CDの取り扱い	6
はじめに	7
まず、本機をリセットする	7
テープ・CD・ラジオの聞きかた	8
各部のなまえ	10
ロータリーコマンダー（別売り）の操作	12
時計を合わせる	14

カセットテープ

テープを聞く	15
繰り返し聞く （リピート再生）.....	17

CD・MD

CD/MDを聞く	18
繰り返し聞く （リピート再生）.....	20
曲順を変えて聞く （シャッフル再生）.....	21

ラジオ

放送局を自動で登録する	22
特定の放送局を登録する	24

その他の操作

スペクトラムアナライザーを選ぶ （SA）.....	25
音のバランスや音質を設定する （バス/トレブル） （バランス/フェーダー）.....	26
重低音を強調する	27
ボタン操作音を消す	28
使用上のご注意	29
故障かな?	31
CD/MDのエラー表示	33
保証書とアフターサービス	34
主な仕様	35
索引	裏表紙



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する
本機の実装には専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の
「取り付けと接続」の説明に従って、正し
く取り付けてください。正しい取り付けを
しないと、火災や感電の原因となります。



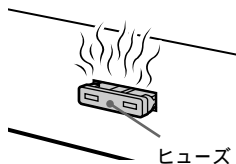
内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となり
ます。万一、水や異物が入ったときは、す
ぐに電源を切り、お買い上げ店またはソ
ニーサービス窓口にご相談ください。

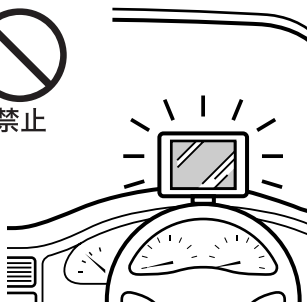


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズ
に記された規定容量のアンペア数のものを
お使いください。規定容量を越えるヒュー
ズを使うと、火災の原因となります。



前方の視界を妨げる場所に、ディス
プレイやモニターを取り付けない
前方の視界の妨げになると、事故やけがの
原因となります。また、取り付け場所
が、助手席用エアバッグシステムの動作の
妨げにならないことを確認してください。



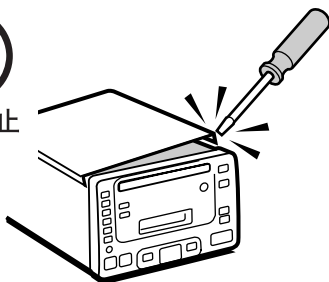
分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店または
ソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**
を与えたりすることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となる
ことがあります。



禁止

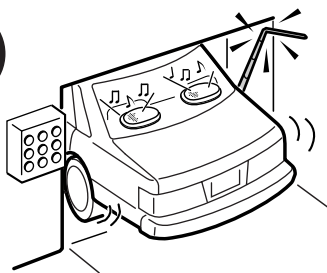


アンテナの高さより低い場所(駐車場や洗車機など)へ入るときは電源をOFFにする

ラジオの動作中はパワーアンテナが自動的に上がります。低い場所へ入るときは、必ずラジオ以外のソースに切り換えるか、OFFボタンを押してアンテナが下がったことを確認してください。



禁止



CDの取り扱い

CDについて

CDの汚れやゴミ、キズ、そりなどが音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。



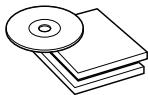
記録面に触れないように持つ。



ディスクに紙などを貼らない。
キズを付けない。



- 直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。



- 再生する前に、再生面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふき取ってください。



- ペンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。静電気防止剤なども、逆にCDを傷めることがありますので使用しないでください。

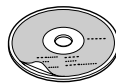
こんなディスクは使わないでください

本体内部にディスクが貼り付いて故障の原因となったり、大切なディスクにもダメージを与えることがあります。

- 中古やレンタルCDで、シールなどののりがはみ出したり、シールをはがしたあとにのりが付着しているもの。またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの。
- レンタルCDでシールなどがめくれているもの。



- お手持ちのCDに飾り用のラベルやシールを貼ったもの。
- 本機ではCD 円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星形やハート型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。



CD-Rについて

- 本機はお客様が編集された音楽用のCD-R(レコーダブル)ディスクを再生することができます。ただし、録音に使用したCD-RレコーダーやCD-Rディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理(通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理)をされていないCD-Rディスクは再生できません。
- CD-RW(リライタブル)ディスクは再生できません。

はじめに

- 本機1台でカセットテープとCD、ラジオの3メディアに対応。
- 運転感覚で操作できるロータリーコマンダー(別売り)に対応。

以下に記載した別売りの機器も本機のボタンで操作できます。

- CDチェンジャー
- MDチェンジャー

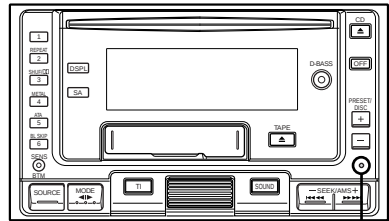
この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、別売りのロータリーコマンダー(RM-X4S)やCD/MDチェンジャーを接続した場合の操作方法についても説明しています。

まず、本機をリセットする

初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したときは、リセットボタンをつま楊子の先などで押してください。ただし、針のような物で強く押すと故障の原因となります。

ご注意

- リセットボタンを押すと、時刻などの登録した内容が消えるものがあります。その場合は、登録し直してください。
- リセットボタンを押してから10秒間はCDおよびテープを入れないでください。リセットされないことがあります。その場合は、もう一度リセットボタンを押してください。



リセットボタン

テープ・CD・ラジオの聞きかた

CDを聞く

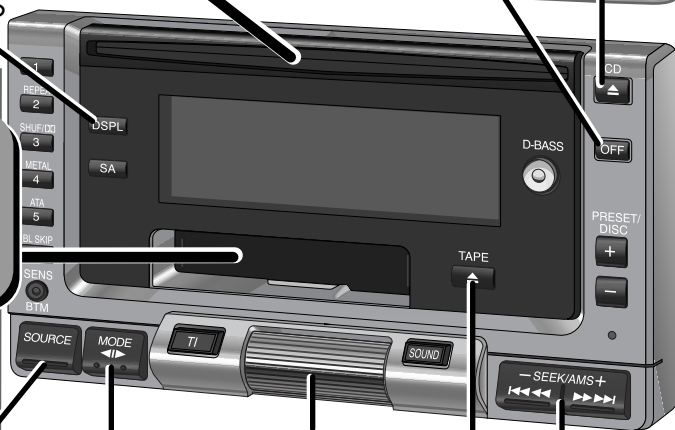
CDを入れる

レーベル面を上にして
入れます。

表示を切り換える

テープを 聞く

テープを入れる



テープ/CDが入っているときに
押して「TAPE」または「CD」を表示
させると再生が始まる。

テープ/CDが入っていると点灯します



: カセットテープのとき



: CDのとき

本機は8cmCDがそのまま再生できます。
8cmCDにシングルアダプターをつけて再生すると誤
動作することがありますので使用しないでください。

テープの巻き戻し・早送りをする
再生中に押し続けます。

▶▶▶▶: 先に進める ◀◀◀◀: 前に戻す
途中で再生をはじめるには、MODEボタンを
押します。

テープ/CDの曲の頭出し

再生中に押して離します。

▶▶▶▶: 次の曲へ進む

◀◀◀◀: 曲の頭や前の曲へ戻す
戻したい曲の数だけ押します。

CDを聞きながら探す(サーチ)

再生中に押し続けます。

▶▶▶▶: 先に進める ◀◀◀◀: 前に戻す
指を離すと、そこから再生されます。

ラジオを聞く

① ラジオ受信にする

表示を
切り換える

② 聞きたいバンドを選ぶ

押すごとにFM1 → FM2 → AM1 → AM2と切り換わります。

止める / 電源を切る



音量を調節する

交通情報を聞く

数字ボタンに登録した
放送局を順に受信する

③ 聞きたい 放送局を選ぶ

数字ボタンに登録してあるときに
選ぶことができます。くわしくは
22、24ページをご覧ください。

自動選局で受信する
押して離します。

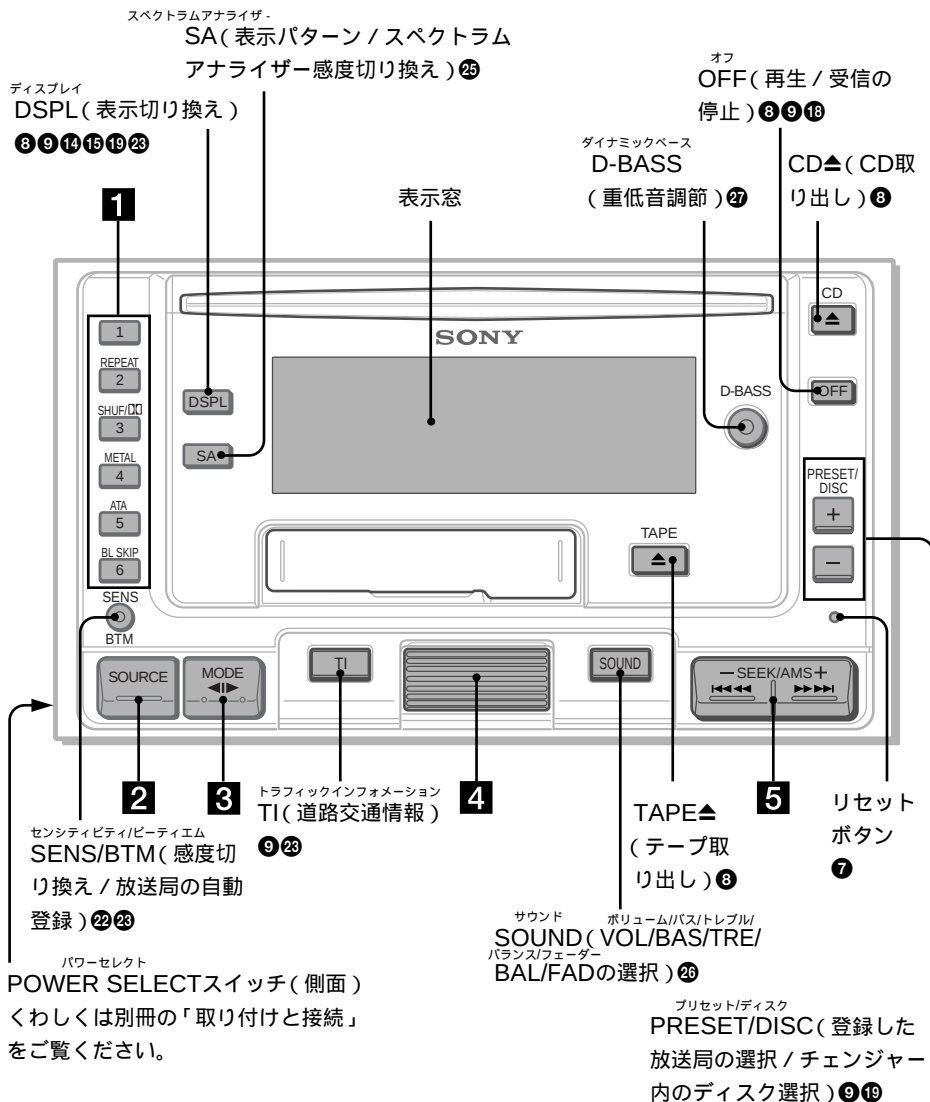
自動的に受信すると止まります。

▶▶ ▶▶ : 高い周波数へ

⏮ ⏪ : 低い周波数へ

各部のなまえ

くわしい説明は●内のページをご覧ください。



1 数字(1~6)ボタン

ラジオ 放送局の登録 / 選択

9 22 24

2 SOURCE (TUNER/CD/MD/TAPE切り替え)

ソース チューナー/シーディー/エムディー/テープ

3 MODE

チューナー

TUNER FM1/FM2/AM1/AM2切り換え (ラジオ) 9 22 24

シーディー

CD CD再生、CDチェンジャー*選択 8 18

エムディー

MD MD再生、MDチェンジャー*選択 18

テープ

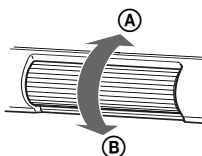
TAPE 再生面切り換え 8

* 別売りのチェンジャーが接続されているとき

4 ジョグローラー (VOL/BAS/TRE/BAL/FADER)

ボリューム/バス/トレブル/バランス

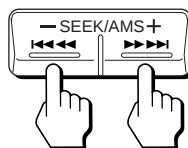
フェーダー



	(A)	(B)
音量調節	大きく	小さく
バス	強める	弱める
トレブル	強める	弱める
バランス	右へ	左へ
フェーダー	前へ	後ろへ

5 SEEK/AMS (頭出し / ラジオ選局)

8 9 23 24



ラジオ	周波数の低い 放送局へ (押し続ける)	周波数の高い 放送局へ (押し続ける)
-----	---------------------------	---------------------------

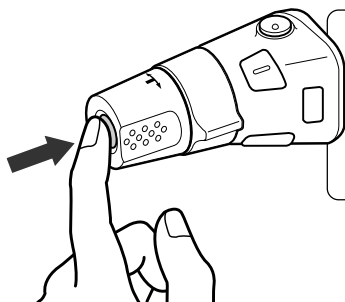
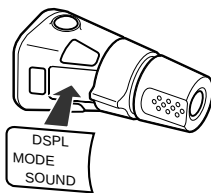
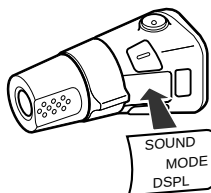
CD/MD	前の曲へ 早戻し (押し続ける)	次の曲へ 早送り (押し続ける)
-------	------------------------	------------------------

TAPE	前の曲へ 巻き戻し (押し続ける)	次の曲へ 早送り (押し続ける)
------	-------------------------	------------------------

ロータリーコマンダー (別売り) の操作

ロータリーコマンダーのシールについて

本機には、別売りのロータリーコマンダー (RM-X4S) を接続してお使いになります。ロータリーコマンダーには、ボタン名称のシールが数枚付属されています。本機には図のシールをお使いください。また、ロータリーコマンダーを取り付ける向きに合わせて、シールを貼ってください。

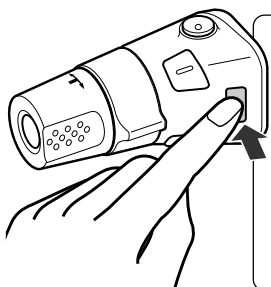


ソース SOURCEボタンを押すと

本機の電源が入り、繰り返し押すとソースが

→ ラジオ → CD → MD → TAPE

と切り換わります。



モード MODEボタンを押すと

ラジオの時： → FM1 → FM2 → AM1 → AM2

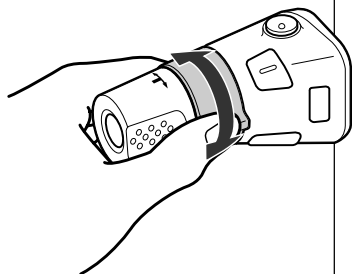
CDの時： CD1 → CD2* → . . .

MDの時： MD1* → MD2* → . . .

TAPEの時： 再生面の切り換え

上記のように切り換わります。

* 別売りの機器を接続している場合



SEEK/エーエムエス

SEEK/AMSつまみを短く回して離すと

ラジオ... 自動的に放送局を受信する

回し続けると特定の周波数に合わせられます

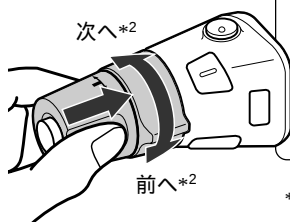
CD/MD... 曲の頭出しをする

回し続けると早送り / 早戻しになり、離すと再生に戻ります

TAPE... 曲の頭出しをする

回し続けると早送り / 巻き戻しになります。

途中で再生に戻すにはMODEボタンを押します



プリセット/ディスク

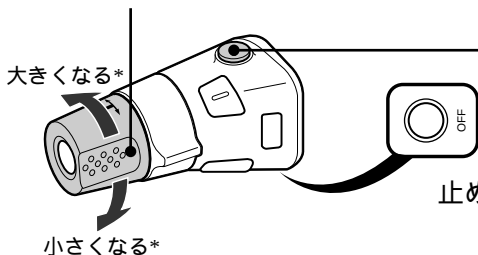
PRESET/DISCつまみを押しながら回すと
ラジオ... 登録した放送局に順に受信する

CD/MD*1... ディスクを切り換える

*1 別売りの機器を接続した場合

*2 操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側での使用を想定した方向になっています。

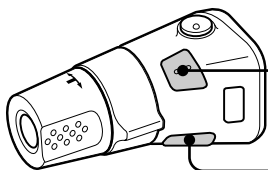
音量を調節する (VOLつまみを回す)



音量を瞬時に下げる (ATTボタンを押す)
解除するにはもう一度押すか、本体のジョ
グロ - ラ - を上に回します。

止める / 電源を切る (OFFボタンを押す)

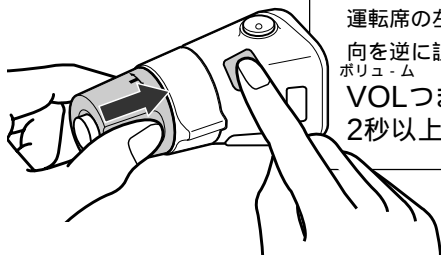
* 操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側での使用を想定した方向になっています。



音量調節・音質選択する (SOUNDボタンを押す)
本体のSOUNDボタンと同じ働きをします。

表示を切り換える (DSPLボタンを押す)
本体のDSPLボタンと同じ働きをします。

つまみの操作方向を切り換える

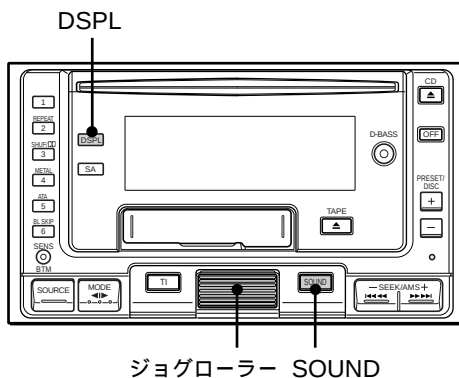


運転席の左右どちら側に取り付けるかで、つまみの操作方向を逆に設定できます。

VOLつまみを押しながら、SOUNDボタンを
2秒以上押す

時計を合わせる

本機は12時間表示です。



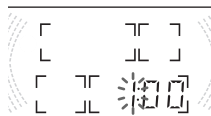
ご注意

本機側面のパワーセレクトスイッチを①にしている場合は、電源を入れてから時計を合わせてください。

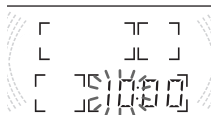
電源を入れるには、SOURCEボタンを押してラジオ受信にするか、またはCDやカセットテープを入れます。

1 車のイグニッションキーをONにする。

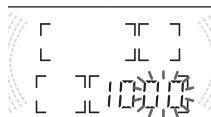
2 DSPLボタンを時計表示が点滅するまで押す。



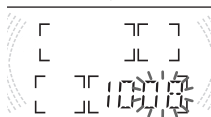
- ① ジョグローラーを回して「時」を合わせる。



- ② 「時」を合わせたら、SOUNDボタンを押す。



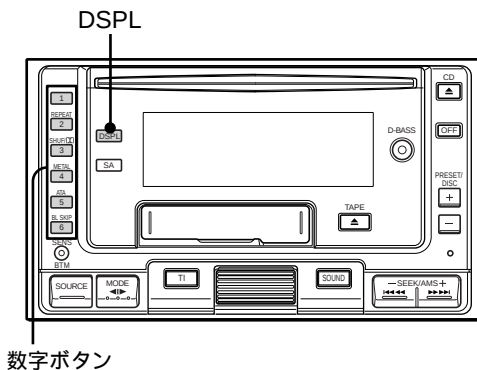
- ③ ジョグローラーを回して「分」を合わせる。



3 DSPLボタンを押す。

時計がスタートします。

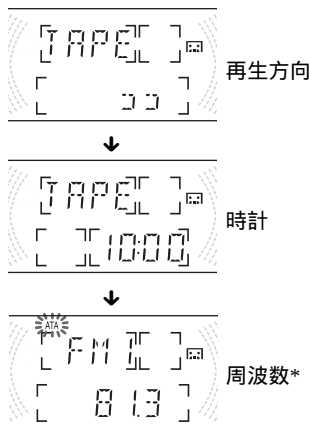
テープを聞く



表示窓の見かた

再生中にDSPLボタンを押して表示を切り換える。

DSPLボタンを押すごとに次のように切り換わります



* ATA機能が「ON」で早巻き中のみ表示されますが、2、3秒後に再生方向の表示に戻ります。

次のページへつづく

テープを聞く(つづき)

* ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーライセンスからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY、及びダブルD記号はドルビーラボラトリーライセンスの商標です。

ドルビー[®]B NRで録音したテープを再生するには(ドルビー再生)

再生中に数字ボタン3 (SHUF/□□) を押して「□□」を表示させます。

ふつうの再生に戻すには

もう一度数字ボタン3 (SHUF/□□) を押して「□□」表示を消します。

メタルテープを再生するには(メタル再生)

再生中に数字ボタン4 (METAL) を押して「MTL」を表示させます。

ふつうの再生に戻すには

もう一度数字ボタン4 (METAL) を押して「MTL」表示を消します。

テープの早巻き中にラジオを聞くには (オートマチックチューナーアクティベーション機能)

再生中に数字ボタン5 (ATA) を押して「ATA」を表示させます。

パワーアンテナが上がります。

ふつうの再生に戻すには

もう一度数字ボタン5 (ATA) を押して「ATA」表示を消します。パワーアンテナが下がります。

8秒以上の空白部分を早送りさせるには (ブランクスキップ機能)

再生中に数字ボタン6 (BL SKIP) を押して「BL SKIP」を表示させます。

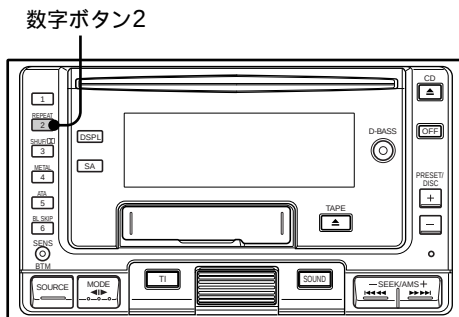
ふつうの再生に戻すには

もう一度数字ボタン6 (BL SKIP) を押して「BL SKIP」表示を消します。

繰り返し聞く

(リピート再生)

再生中の曲を繰り返し聞きことができます。



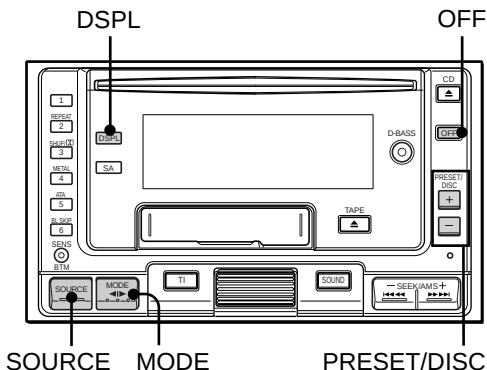
再生中に数字ボタン2 (REPEAT) を押して
「REP」を表示させる。

リピート演奏が始まります。

リピート再生をやめるには
もう一度数字ボタン2 (REPEAT) を押して「REP」表示を
消します。

CD/MDを聞く

本機のCDまたは別売りのCD/MDチェンジャーを使って、CDやMDを再生できません。



聞きたい機器を選ぶ

- 1 SOURCEボタンを押して、「CD」*¹または「MD」*²を表示させる。

▶ ラジオ▶ CD*¹▶ MD*²▶ TAPE*³

- 2 MODEボタンを繰り返し押して、再生したいCD/MD機器（本機またはCD/MDチェンジャー）を選ぶ。

CD再生の場合:

CD1*¹（本機）→ CD2*²（CDチェンジャー1）→
CD3*²（CDチェンジャー2）

MD*²再生の場合:

MD1（MDチェンジャー1）→ MD2（MDチェンジャー2）

再生をやめるには

別のソースに切り換えるか、OFFボタンを押します。

*¹ 本機にCDが入っている場合のみ表示されます。

*² 別売りの機器を接続した場合のみ表示されます。

*³ 本機にカセットテープが入っている場合のみ表示されます。

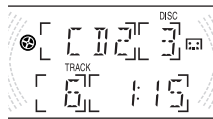
CD/MDチェンジャー内の聞きたいディスクを選ぶ

聞きたいディスクの番号になるまでPRESET/
DISCボタンを押す。

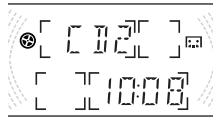
表示窓の見かた

再生中にDSPLボタンを押して表示を切り換えます。

CDの再生の場合(表示はCDチェンジャー再生時)



曲番号と再生経過時間



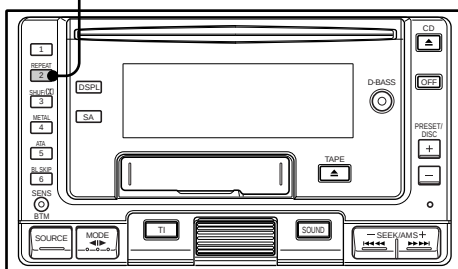
時計

繰り返し聞く

(リピート再生)

1曲のみまたはディスク全曲を繰り返し聞くことができます。

数字ボタン2



ちょっと一言

数字ボタン2 (REPEAT)

を押すごとに

REP 1 → REP 2*1→

REP 3*1*2 → 表示なし →

REP 1 ...

と切り換わります。

*1 CD/MDチェンジャーを
接続していない場合は表
示されません。

*2 MDチェンジャーの場合
は2台以上接続しないと
表示されません。

再生中に数字ボタン2 (REPEAT) を繰り返し押して、聞きたい設定に切り換える。

1曲のみ繰り返す 「REP 1」にする。

別売りのCD/MDチェンジャーを接続した場合

• 再生中のディスクを繰り返す 「REP 2」にする。

• チェンジャー内のディスク全曲を繰り返す
..... 「REP 3」にする。

リピート演奏が始まります。

リピート再生をやめるには

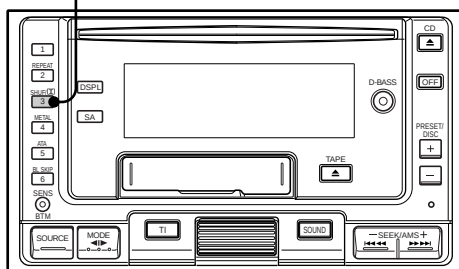
もう一度数字ボタン2 (REPEAT) を押して「REP」表示を消します。

曲順を変えて 聞く

(シャッフル再生)

再生中のディスク全曲、またはチェンジャー内の全ディスクを曲順を変えて聞くことができます。

数字ボタン3



ご注意

「SHUF ALL」では、すべての曲を再生し終える前に、同じ曲が再生されることがあります。

ちょっと一言

数字ボタン3 (SHUF/□) を押すごとに
SHUF 1 → SHUF 2*1 →
SHUF ALL *1*2 →
表示なし → SHUF 1 ...
と切り換わります。

*1 CD/MDチェンジャーを
接続していない場合は表示されません。

*2 MDチェンジャーの場合は2台以上接続しないと表示されません。

再生中に数字ボタン3 (SHUF/□) を繰り返し押して、聞きたい設定に切り換える。

- 再生中のディスクの全曲を順不同に再生するには
..... 「SHUF 1」にする。

別売りのCD/MDチェンジャーを接続した場合

- 再生中のCD/MDチェンジャーの全ディスクの曲を順不同に再生するには

..... 「SHUF 2」にする。

- 本機のCDとCDチェンジャー内のディスク、または2台以上のMDチェンジャー内のディスクをまたがって順不同に再生するには 「SHUF ALL」にする。

シャッフル演奏が始まります。

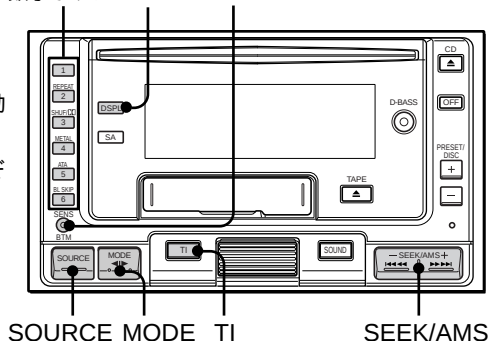
シャッフル再生をやめるには

再生中に数字ボタン3 (SHUF/□) を繰り返し押して
「SHUF」表示を消します。

放送局を自動で登録する

受信できる放送局を数字の1～6ボタンに自動的に登録します。FM1、FM2（TV1～3チャンネル）、AM1およびAM2のバンドでそれぞれ6局ずつ登録できます。

数字ボタン DSPL SENS/BTM



ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されていたときは、それ以降の数字ボタンに放送局が登録されます。

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押して、ラジオ受信にする。

→ ラジオ(FM/AM) → CD → MD*¹ → TAPE →

*¹ 別売りの機器を接続している場合のみ表示されます。

- 2 MODEボタンを繰り返し押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。

→ FM1 → FM2 → AM1 → AM2 →

- 3 SENS/BTMボタンを「PRESET」が点滅表示されるまで押す。

選んだバンドの中で受信状態の良い放送局が周波数の順に数字ボタンに登録されます。

登録した放送局を聞くには

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押して、ラジオ受信にする。

- 2 MODEボタンを繰り返し押して「FM1」、「FM2」、「AM1」または「AM2」にする。

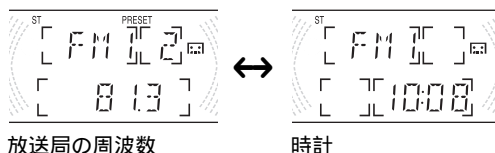
- 3 聞きたい放送局の数字ボタン(1～6)を押す。

ちょっと一言

PRESET/DISCボタンでも聞きたい放送局を選ぶことができます。

表示窓の見かた

DSPLボタンを押して表示を切り換えます。



旅先などで、登録した放送局が受信できないとき(自動選局を使う)

SEEK/AMSボタンを押して離します。自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。

- 聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまでSEEK/AMSボタンを押し続けます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い放送局だけを受信します。ローカル受信にするにはSENSボタンを繰り返し押して「LCL」を表示させます。

ふつうの受信に戻すには

もう一度SENSボタンを繰り返し押して「LCL」表示を消します。

道路交通情報を聞くには (トラフィックインフォメーション)

TIボタンを押します(パワーアンテナが上がります)。

SEEK/AMSボタンを押すと、周波数(1620kHz/1629kHz)を切り換えることができます。

もとのソースに戻すには

もう一度TIボタンを押します(パワーアンテナが下がります)。

ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送を受信すると「ST」と表示されます。放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。モノラルにするにはSENSボタンを繰り返し押して、「MONO」を表示させます。

ふつうの受信に戻すには

もう一度SENSボタンを繰り返し押して、「MONO」表示を消します。

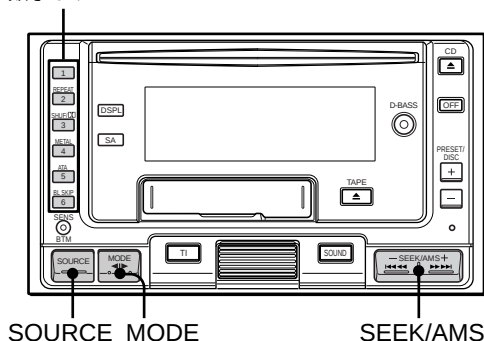
ちょっと一言

道路交通情報(AM
1620kHzまたは
1629kHz)の放送地域内で
聞くことができます。

特定の放送局を登録する

放送局を自動登録(22ページ)したあと、空いている数字ボタンに他の放送局を追加登録できます。

数字ボタン



ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局は消えてしまいます。

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押して、ラジオ受信にする。

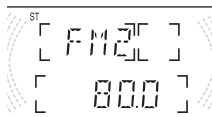
▶ ラジオ▶ CD▶ MD*▶ TAPE ◀

* 別売りの機器を接続している場合のみ表示されます。

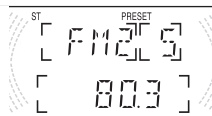
- 2 MODEボタンを繰り返し押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。

▶ FM1▶ FM2▶ AM1▶ AM2 ◀

- 3 SEEK/AMSボタンを押して登録する放送局を受信する。



- 4 登録したい数字ボタンを「PRESET」が表示されるまで押す。

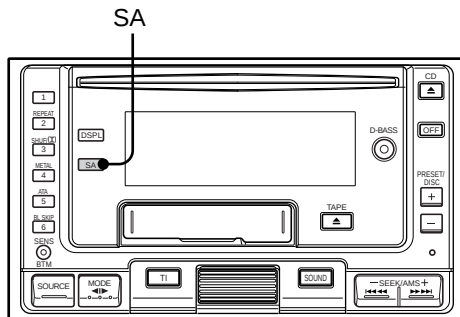


押した数字ボタンの番号が表示され、このボタンに選んだ放送局が登録されます。

スペクトラムアナライザーを選ぶ

(SA)

刻々と変化する音声信号レベルをスペクトラムアナライザーでリアルタイムに表示します。また、表示パターンは8種類の中から選ぶことができます(音声信号に連動しない表示パターンを含む)。また、スペクトラムアナライザー表示のレベルは、3段階に切り換えることができます。



再生中にSAボタンを短く繰り返し押し、表示パターンを選びます。

設定の種類	表示内容
SA-1	左右下から上へのスベアナ
SA-2	左は上、右は下からのスベアナ
SA-3	左右から中心へのスベアナ
SA-4	中心から上下へのスベアナ
SA-5	中心から左右へのピークのみ残るスベアナ
SA-6	中心から左右へ通り抜けるレベルメーター
SA-7	中心から左右へウエーブで送るレベルメーター
SA-8	万華鏡のパターンのレベルメーター
SA*	SA-1～8の繰り返し

* すべての表示パターンを約10秒ずつ順に表示

ちょっと一言

SAボタンを2秒以上押すたびに
L-3 → L-1 → L-2
と切り換わります。

スペクトラムアナライザのレベルを調整する

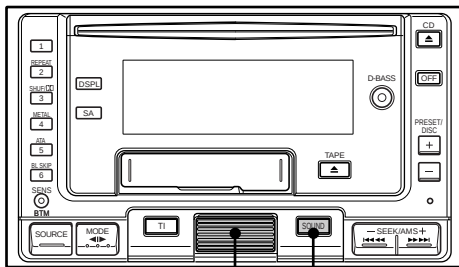
SAボタンを2秒以上押します。

その他の設定

音のバランスや音質を設定する

(バス/トレブル)

(バランス/フェーダー)

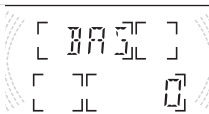


ジョグローラー SOUND

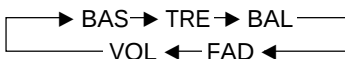
音質を設定する

BAS(低音)とTRE(高音)はソースごとに調節できます。

- 1 SOUNDボタンを繰り返し押し、**「BAS」**または**「TRE」**にする。



バス調節モード



低音を調節する **「BAS」**にする。

高音を調節する **「TRE」**にする。

- 2 ジョグローラーを回して音質を調節する。

3秒後に通常のモードに戻ります。

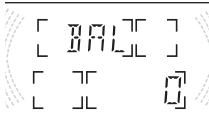
ちょっと一言

- 左右または前後にそれぞれ10段階に調整できます。
- 中央に合わせるときは「0」に合わせます。

出力バランスを調節する

前後と左右のスピーカー出力のバランスを別々に調節することができます。

- 1 SOUNDボタンを繰り返し押し、**「BAL」**または**「FAD」**にする。



バランス調節モード

左右を調節する **「BAL」**にする。

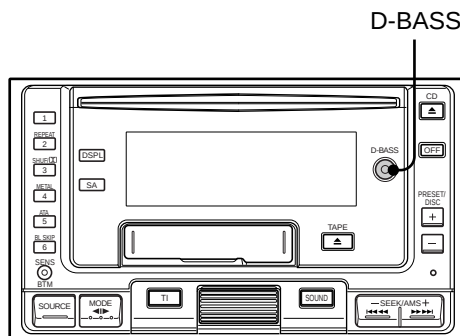
前後を調節する **「FAD」**にする。

- 2 ジョグローラーを回して出力バランスを調節する。

3秒後に通常のモードに戻ります。

重低音を強調する

D-BASS機能(ダイナミックベース)は低音域をシャープに増幅するため、同じ音量でクリアな力強い低音を楽しめます。



ちょっと一言

D-BASSボタンを押すたびに
D-BASS 1 → D-BASS 2
→ D-BASS 3 → 表示なし
→ D-BASS 1 ...

と切り換わります。

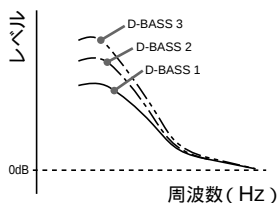
ご注意

音量によっては低音が歪むことがあります。このときはD-BASSボタンや音量を聞きやすいように調整してください。

D-BASS機能で低音を調節する

D-BASSボタンを繰り返し押して、「D-BASS」表示にする。

数字が大きいくほど低音が強調されます。



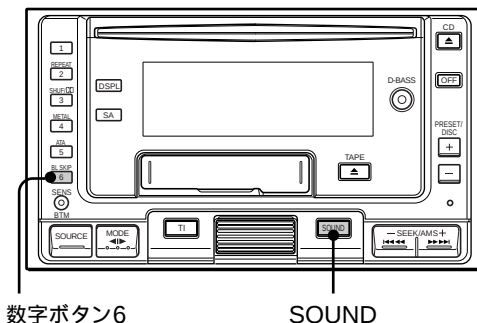
通常に戻すときは

D-BASSボタンを繰り返し押して、「D-BASS」表示を消します。

その他の操作

ボタン操作音を消す

操作ボタンを押したときの「ピッ」という音を消すことができます。



SOUNDボタンを押しながら数字ボタン6を押す。

再び操作音が出るようにするには
もう一度SOUNDボタンを押しながら数字ボタン6を押す。

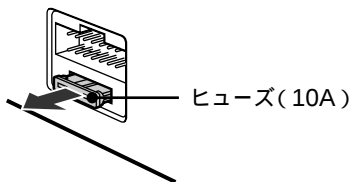
使用上のご注意

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



結露について

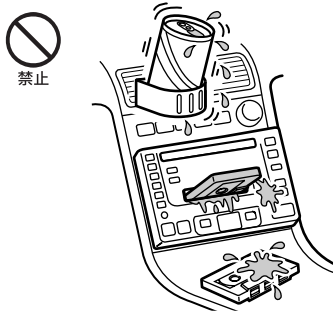
寒いときにヒーターをつけた直後など、CDプレーヤー内部の光学系のレンズに霧（水滴）が生じることがあります。このような現象を結露といいます。結露したままですとレーザーによる読み取りができず、CDプレーヤーが動作しないことがあります。周囲の状況にもよりますが、CDを取り出して放置しておけば約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申し付けください。

カセットデッキのヘッドのお手入れについて

カセットテープを長い間使用すると、ヘッドが汚れて、音質がよくない、音が出ないというようなことがおこります。50時間を目安に、別売りのソニークリーニングカセットC-1KDまたは市販の乾式クリーニングカセットを使ってヘッドをクリーニングしてください。また、クリーニングカセットを使用しても症状が良くならない場合はお買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

良い音で聞くために

カップホルダーにジュースなどを置くときは、飛び散りにご注意ください。本機やカセットのテープ面に糖分が付着すると、カセットデッキのヘッドが汚れ、音質が劣化したり、音が出なくなることがあります。ヘッドに付着した糖分は、クリーニングカセットでクリーニングすることができません。



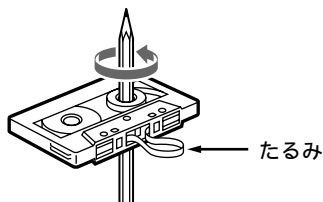
カセットについて

- ・テープ面に指を触れないでください。テープ面が汚れたカセットを使うと、音質の劣化の原因となります。
- ・古いカセットや粗悪なカセットを使わないでください。音質の劣化や故障の原因となることがあります。
- ・次の場所には絶対に置かないでください。
 - 直射日光が当たるところなど高温の場所（特に夏季）
 - 湿度の高いところ

次のページへつづく

使用上のご注意(つづき)

- テープにたるみがあると、テープが機械に巻き込まれることがあります。必ず、鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。



- 90分を超えるテープのご使用はおすすめできません。90分を超えるテープは、非常に薄くのびやすいので、車の振動や高温によってテープが機械に巻き込まれる場合があります。



禁止



- 変形したカセットテープやラベルのはがれかかったテープを使用すると故障の原因になります。ラベルがはがれかかっているときは、新しいラベルに貼り直してください。



禁止



- 本機はパワーアンプ内蔵のため、長時間使用するとカセットが熱くなりますが、カセットの機能には影響ありません。

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

		症状	原因・処置
共通		音が出ない。	• 音量を上げてください。 • ATT機能を解除してください。 • スピーカー接続時：フェーダーの設定が正しくない。 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。
		再生／受信の停止時に 時計表示にならない。	パワーセレクトスイッチがⒷになっている。 → パワーセレクトスイッチをⒶにしてからリセットボタンを押してください（アクセサリポジションのある車のみ）。
		メモリーの内容が消えてしまった。	• リセットボタンを押した。 • 動作電源コードまたはバッテリーを外した。 • 電源コードが正しく接続されていない。
		ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	• 「ピッ」という音が出ない設定になっている。 → ボタン操作音の設定（28ページ）をしてください。
CD/MD		ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐに出てくる。	• すでに別のディスクが入っている。 • ディスクを誤った向きに入れようとしている。 → レーベル（ラベル）面を上に入れてください。
		音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	• CDが汚れている。 → ディスクをクリーニングしてください。 • ディスクが傷ついている。 • 本機の取り付け角度が20°を越えている。 • 本機またはチェンジャーが正しく固定されていない。 • MDではごくまれに録音機と本機との互換性により音がとぶことがあります。この場合、録音機のメーカー名と機種名をご確認のうえ、お近くのソニーサービス窓口へご相談ください。

次のページへつづく

故障かな?(つづき)

	症状	原因・処置
カセットプレイヤー	カセットが入らない	カセットを正しい向きにして入れてください。
	テープ再生中にアンテナが上がる	「ATA」と表示されている場合は、ATA機能が働き、テープ早送り、巻き戻し中に自動的にラジオを受信するためアンテナが上がります。
	雑音が多い	雑音が多いテープ、あるいは録音レベルの低いテープを再生している。故障ではありません。
	音がこもる	• ヘッドが汚れている。→ 別売りのソニークリーニングカセット(C-1KD)または市販の乾式クリーニングカセットを使ってクリーニングしてください。 • ドルビーNR録音されていないテープをドルビーB NRで再生している。 → ドルビーNRをOFFに切り換えてください。
	頭出しができない	• 曲間のあきが短すぎる。→ 録音テープを作るとき、曲間を4秒以上あけてください。 • 曲間に雑音が多く、曲間を検出できない。
ラジオ/テレビ	曲の途中で再生が始まる	• 曲の途中に無音部分や低音のみの部分が1秒以上あり、曲間として検出された。 • 再生している面と反対の面に大きな音が録音されている。 • 無音部分の一部に雑音が多い。
	曲が収録されていない部分で再生が始まる	ドルビーNR録音されたテープをドルビーNR OFFで再生している。→ ドルビーNR Bに切り換えてください。
	受信できない、雑音しか出ない。	• パワーアンテナコントロールコード(青色)または、アクセサリ電源(赤色)を、純正アンテナブースターの電源供給コード(車両側)に接続してください。(リアまたは、サイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合のみ)。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。 • カーアンテナとの接続を確認してください。 • オートアンテナが上がっていない。→ パワーアンテナコントロールリードの接続を確認してください。 • 周波数を確認してください。
	SEEK/AMSボタンを押しても聞きたい放送局で止まらない。	• 「LCL」と表示されている場合は電波の強い周波数しか受信しません。 → 表示を消してください(23ページ)。 • 電波が弱くて自動選局できない。 → SEEK/AMSボタンを押し続けて周波数を合わせてください。

CD/MDのエラー表示

CDチェンジャーやMDチェンジャーが誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
E-01	チェンジャーにディスクマガジンが入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、チェンジャーに入れる。
E-02	チェンジャーのディスクマガジンにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
E-04	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのMDに入れ換える。
E-99	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

保証書とアフターサービス

保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

部品の交換について

この製品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品はご同意をいただいた上で回収させていただきますので、ご協力ください。

主な仕様

CDプレーヤー部

周波数特性 5～20,000Hz
ワウフラッター 測定限界以下

カセットプレーヤー部

トラック方式 4トラック2チャンネル
(ステレオ)
周波数特性 30～20,000Hz
ワウフラッター 0.08% (WRMS) 以下
再生SN比 (JIS A)

カセット	ドルビー B NR	ドルビー NR OFF
TYPE I	64dB	55dB
TYPE II、III、IV	67dB	58dB

チューナー部

FM
受信周波数 76～90MHz
(テレビ1～3ch)
中間周波数 10.7MHz
実用感度 9dBf
周波数特性 30～15,000Hz
実効選択度 75dB (400kHz)
SN比 65dB (ステレオ)
68dB (モノラル)
ひずみ率 (1kHz) 0.7% (ステレオ)
0.4% (モノラル)
ステレオセパレーション
35dB以上 (1kHz)

AM
受信周波数 522～1,629kHz
中間周波数 10.71MHz/450kHz
実用感度 30μV

アンプ部

適合インピーダンス 4～8Ω
最大出力 45W×4 (4Ω負荷1kHz)

電源部、その他

電源 DC12Vカーバッテリー
(マイナスアース)
出力端子 アンプコントロール、
アンテナコントロール
入力端子 バス音声入力端子、
バスコントロール入力端子、
ATT入力端子 (ナビ用)
本体寸法 約178×100×181mm
(幅/高さ/奥行き)
取付寸法 約178×100×160mm
(幅/高さ/奥行き)
質量 約2.2kg
付属品 取り付け/接続部品 (一式)
取扱説明書 (一式)
ソニーご相談窓口のご案内 (1)
保証書 (1)
別売品 ローターリコマンダーRM-X4S
CDチェンジャー (10枚)
CDX-838、CDX-737
MDチェンジャー MDX-65
ソースセクター XA-C30
バスケーブル (RCAピンコード
付属)
RC-61 (1m)
RC-62 (2m)
バス延長コード
RC-U305 (0.5m)
電源コード RC-39
クリーニングカセット
C-1KD

ご注意

本機には別売りのデジタルプリアンプやイコライ
ザーは接続できません。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更
することがありますが、ご了承ください。

索引

五十音順

ア、カ行

エラー表示	33
音量	8、9

サ行

シャッフル	21
ステレオ放送	23
スピーカーバランス	26
スペクトラムアナライザー ...	25

タ行

テープ	8、15 ~ 17
登録	
自動登録	22
ラジオ局	22
道路交通情報 (TI)	9、23
時計	14
トレブル	26

ナ行

ノイズリダクション	16
-----------------	----

ハ、マ、ヤ行

バス	26
バランス	26
ヒューズ	29
表示窓	
CD/MD	19
テープ	15
ラジオ	23
フェーダー	26
ブランクスキップ	16
ボタンの操作音	28

ラ、ワ行

ラジオ	9、22 ~ 24
自動選局	23
登録	22、24
リセット	7
リピート	17、20
ロータリーコマンダー ...	12 ~ 13

アルファベット順

ATA	16
BAL	26
BAS	26
BL SKIP	16
CD/MD	8、18 ~ 21
D-BASS	27
FAD	26
LCL	23
MONO	23
REPEAT	17、20
SA	25
SHUF	21
TRE	26

保証期間中の操作や取り付け・接続、故障に関するお問い合わせは

テクニカルインフォメーションセンターへ
(モービルエレクトロニクス専用)

0120-64-0131 (フリーダイヤル)

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111

Sony online <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。



* 1 - 3 - 0 4 8 - 5 3 2 - 0 1 * (1)